

いきいき かぐらざか

JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療情報誌



〈れんげ草〉

れんげ草には「心が和らぐ、苦しみを和らげる」という花言葉があります。「みなさんが自分らしく過ごせるように」という意味をこめて情報誌を作成しております。

JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療委員会

前立腺がんの治療一期待される新薬の登場

泌尿器科主任部長 赤倉 功一郎

前立腺がんは高齢の男性のがんです。かつては欧米に多く日本には少ないとされてきました。しかし、人口の高齢化や生活習慣の欧米化によって、我が国の前立腺がんの発見数が急激に増えています。2020年には、胃がんをぬいて、男性のがんで発見数第1位になると予測されています。前立腺がんの早期発見には簡単な血液検査—PSA (prostate specific antigen: 前立腺特異抗原) が役に立ちます。ぜひ50歳以上の男性に奨めてください。



前立腺がんは、早期に発見できれば手術(前立腺全摘除術)や放射線治療によって根治が期待できます。しかし、転移があったり、根治治療の後に再発した場合にはホルモン療法が行われます。ホルモン療法とは、男性ホルモンの働きを抑えることによって前立腺がんを縮小させる治療です。ホルモン療法の方法として、男性ホルモンを作っている精巣(睾丸)を摘出したり、男性ホルモンを作らなくさせる注射薬を定期的にうったり、男性ホルモンの作用を抑える飲み薬を飲んだりします。ホルモン療法の効果は、初めはとても良いのですが、いったんがんが小さくなくても、時間がたつと効果がなくなって再増殖してしまうことが問題です。このようなホルモン療法後の再燃がんには、これまで、ドセタキセルという抗がん剤がほぼ唯一の治療法でした。しかし、今年中に新たに3つの治療薬が発売されます。エンザルタミドとアピラテロンという新しいホルモン治療薬とカバジタキセルという新規抗がん剤です。これらの新薬はドセタキセルが効かなくなった患者さまにも効果が期待できます。

また、前立腺がんは骨に転移しやすく、またホルモン療法の影響で骨がもろくなりやすい(骨粗鬆症)という特徴があります。そこで、骨を対象とした治療を組み合わせる行ないます。骨についても、放射性ストロンチウム、ゾレドロン酸、デノスマブなどの多くの薬剤が開発されて、骨転移による痛みへの対応や骨折予防などが可能となりました。

前立腺がんは進行期であってもホルモン療法をはじめとする薬物療法がよく効きます。経過の長い病気ですので、生活の質を保ちながら、治療を続けていくことが大切です。当科では、前立腺がんの早期発見、根治治療、そして進行がんの治療まで、きめ細かく対応してまいります。どうぞご相談ください。

肺がん治療などの呼吸器外科部門を強化しました

副院長 志田 晴彦

肺がん、他臓器がんからの肺転移、気胸など呼吸器疾患で手術の対象となるものは少なくありません。これまでも当院の外科では増田幸蔵部長を中心に積極的に手術治療を進めてまいりましたが、肺がんの増加に対応するために2014年4月から順天堂大学呼吸器外科（鈴木健司教授）の支援を得てこの部門を強化しました。

肺がんは胃がん、大腸がん、乳がん、肝がん、とならぶ5大がんの一つとされています。この機に地域に根ざす東京都認定がん診療病院としての機能をさらに充実させたいと思います。

呼吸器外科外来は月曜午後（担当：王志明）、木曜午後（担当：今清水恒太）です。病棟医長は金野智明です。呼吸器内科スタッフ（溝尾朗、堀江美正、清水秀文、山下未来）と迅速な連携をとっていきます。手術は毎週水曜に行っています。

以下は鈴木健司先生から患者さまへのメッセージです。

順天堂大学 呼吸器外科教授 鈴木健司

脳卒中、心筋梗塞、がんは三大死因と言われて久しい状況ですが、実はがん以外はその死亡数は横ばいです。がんのみ死亡数の激増がまだ止まらず、年間30万人の患者さまが亡くなります。なかでも肺がんは7万人をしめ、これも激増の一途となっています。注意が必要なことはタバコをすっていない方に肺がんが増えていることです。またご高齢の方にも肺がんが見つかる状況も増えています。しかし過度の心配はご無用です。肺がんの治療法も大きく進歩しております。これまで治療できなかったようなご高齢の患者さまでも安全に治療できるようになりました。当院は順天堂大学呼吸器外科と密接に連携をとり、タイムリーで適切な治療を提供できる状況にあります。「胸に影がある」といわれたらいつでもご相談ください。



手術による後遺症や抗癌剤・放射線治療による副作用等の要因によって、食欲低下などがみられます。がん患者サロン「いきいきかぐらざか」（平成26年2月27日（木））に於いて療養中の方（又はご家族）に実際のお声をお聞きする機会があり、食事への関心の高さを感じました。症状別に食事の摂り方をお話し致しましたが、その一部をご紹介します。

《味覚の変化があるとき》 抗癌剤や放射線治療によって味の感じ方が変わることがあります。味付けは濃い目にし、食べ物を苦く感じる場合は塩味を控え、旨みを利かせ、お酢を利用してみましょう。（卵豆腐がお勧めです）甘みに敏感になり、何を食べても甘く感じる場合は、砂糖・みりんは使わないようにします。味を感知する味蕾（みらい）細胞の新生には亜鉛が必要です。※亜鉛を多く含む食品（かき・豚バ - ・鰻・チーズ・牛もも肉・納豆・ごま等）

《吐き気やおう吐があるとき》 少しずつ回数を増やして食べるようにします。冷たく口当たりがよく飲み込みやすいものにします。刺激や臭いが少なく、胃の負担の少ない食べ物を選び、揚げ物や固いものは控えましょう。おう吐後は失われた電解質を補い、脱水を防止するために水分補給（水やお茶・果汁・味噌汁・スポーツ飲料等）をしましょう。

《便秘のとき》 予防のためには規則正しい食事時間と食品のバランスを良好にし、消化管のリズムを整えましょう。穀類や野菜類を毎食取り入れ、食物繊維を適度に摂ることや乳酸菌を含む食品（ヨーグルト等）を毎日摂りましょう。果物（バナナ・リンゴ・プルーン等）は腸粘膜を守り、便を柔らかくします。食事で摂るのが難しい場合は、水溶性食物繊維や難消化性デキストリン等を水に解いて飲むタイプの食品の利用も良いでしょう。

参考：食事に困った時のヒント改訂版 公益財団法人がん研究振興財団



《次回のがん患者サロンのご案内》

日時：平成26年10月30日（木）
14：00～15：30

場所：別館地下2階 第5会議室

テーマ：「がん化学療法について」

主任薬剤師 吉井雅美

お問い合わせはがん相談支援センター

TEL 03-3269-8137へご連絡下さい。

セカンドオピニオンについて

他の医療機関に受診中で、診断や治療方針について他の医師の意見もお求めになりたい方に対して、セカンドオピニオンを行っております。がん相談支援センター又は各科外来（受付時間：平日14時～16時）までお問い合わせください。30分から1時間を予定しております。健康保険は使えませんので1件あたり21,600円の費用がかかります。病理診断医による診断が行われる場合別途8,100円を徴収させていただきます。

また、当院受診中の方で、他医療機関のセカンドオピニオンをご希望される場合は各科受付又は主治医にお申し出下さい。

がん相談のご案内

「緩和ケアについて知りたい」「介護や看護の方法で悩んでいる」など、がんに関わる様々な問題、心配ごとについてのご相談に応じています。お気軽にご相談ください。

受付時間：月～金（祝日を除く） 8：30～17：00

担当：がん相談支援センター（地域連携・総合相談センター内）ソーシャルワーカー

連絡先：TEL 03-3269-8137(直通) msw@tkn-hosp.gr.jp

JCHO東京新宿メディカルセンターのご案内

〒162-8543 東京都新宿区津久戸町5-1

JCHO東京新宿メディカルセンター

TEL 03-3269-8111 (代)



【診療科】29診療科

整形外科／脊椎脊髄外科／形成外科／リハビリテーション科／リウマチ科／外科／脳神経外科／脳神経血管内治療科／内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科／糖尿病内分泌内科／血液内科／緩和ケア内科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／小児科／精神科／放射線科／歯科／歯科口腔外科／麻酔科／病理診断科／救急科



□ JR総武線（中央線各駅停車）
飯田橋駅東口 徒歩5分

□ 東京メトロ 東西線・有楽町線・南北線
飯田橋駅（B1出口） 徒歩4分

□ 都営大江戸線
飯田橋駅（C1出口） 徒歩3分
* 当院に一番近い地下鉄出口「C1」は、都営大江戸線利用の場合のみ便利です。
地下鉄で車椅子等でお越しの方は、南武線後楽園駅寄りの改札前にある「地上行きエレベーター」をご利用ください。

□ バス
・ 都営飯田橋駅前—小滝橋車庫（飯62）昼間だけの運行です。
厚生年金病院前 下車すぐ
・ 小滝橋車庫前—九段下（飯64）
飯田橋 下車 徒歩5分